

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 静岡森林管理署
所在地	静岡県北部・山梨県南部(富士山中腹)
面積	5,718.76 ha
設定年	2002(H14)年
保護林の概要 (設定目的)	富士山緑の回廊は、富士山の中腹部の標高1,500m～2,500mをほぼ一周する形で設定されている。富士山エリアに設定されている保護林には、富士山生物群集保護林、富士山峙塚亜高山帯植物群落保護林が設定されている。



ウラジロモミ人工林(2019.11.28撮影)



台風19号による風倒木(2019.11.28撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2003年～2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	聞き取り調査、資料調査のほか、現地調査として、富士森林計画区人穴東地区から、山梨東部森林計画区にラインを設定し、樹木・林床植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況、野生動物の生育状況を確認する森林概況調査を実施。
結果概要	ニホンジカによる食害が顕著なエリアであり、ニホンジカによる採食圧により下層植生消失や樹木の枯損が確認されている。一方で、捕獲事業によりニホンジカの生息密度低下、植生の回復等が認められている地域もあることから、今後も緑の回廊への影響の変化に注視する必要がある。